

東洋農機公式YouTubeで動画を配信中!!

購入前に作業の様子を見てみたい!というお客様必見です。チャンネル登録をすることで
更新した際に通知が行きますので、登録がまだの方は是非こちらから!

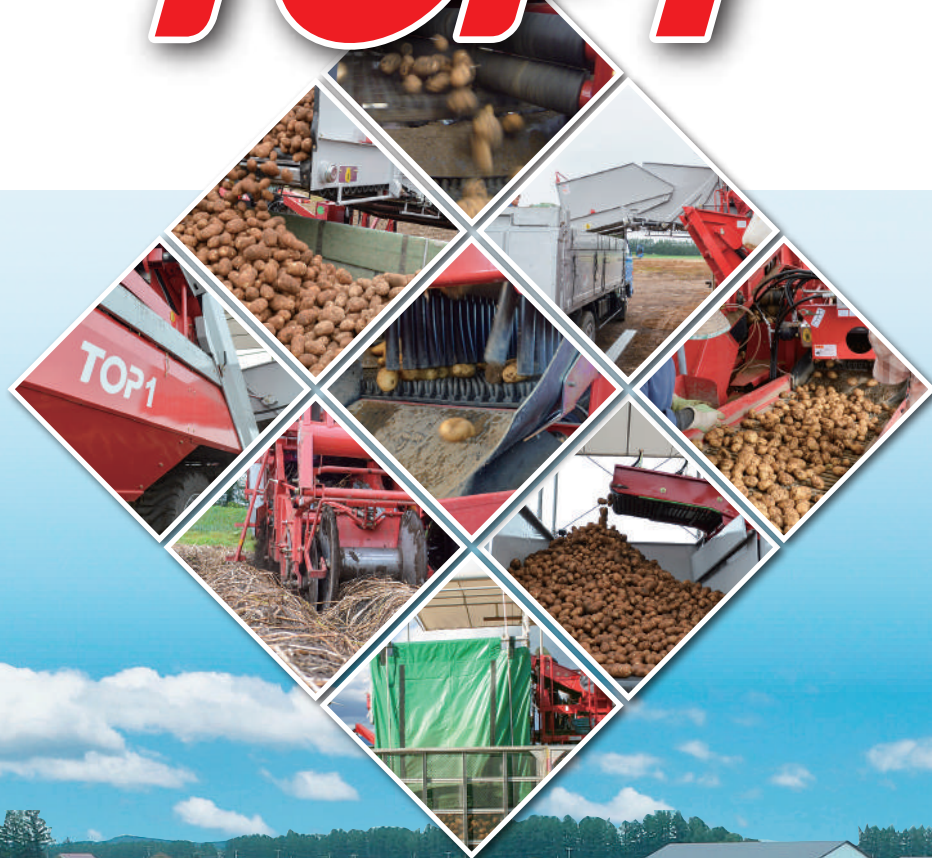


わたくしたちは アグリパートナーです。



オフセットポテトハーベスタ

TOP1



TOP1

東洋農機のTOP1は、日本で初めてのオフセットポテトハーベスタとして2002年にデビューしました。欧州では一般的なオフセットハーベスタですが、補助作業者の体格の違いや日本の選果・集荷体系、馬鈴薯の性質による問題点を改良し、更に高性能な日本向けのオフセットハーベスタとして開発しました。世界水準の性能と快適さを、北海道十勝より発信いたします。

東洋農機

馬鈴薯収穫機の歴史



1950年前後
畜力用ポテト発掘機
による作業風景



1965年
兼用ハーベスタ 販売開始
動力トラクターの普及による
作業機の新規需要



1975年
ポテトハーベスタ
TPH5(白鳥) 販売開始



1979年
TPH7(ウルトラ7)
販売開始
新規需要から更新需要期へ

2002年
オフセットポテトハーベスタ
TOP1 販売開始



2007年
TOP1
4.0m³タンク発売開始



2009年
TOP1 モデルチェンジ
2012年
TOP1
4.0m³先折れタンク
発売開始



2015年
TOP1
5.0m³タンク発売開始
玉ねぎユニット発売開始



2021年
TOP1e 販売開始

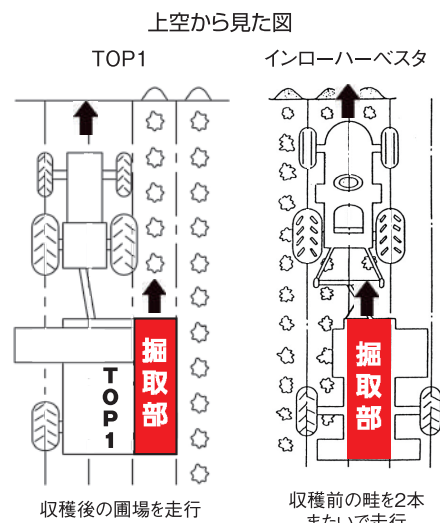
東洋農機オフセットハーベスタ

TOP1の特長



掘取方法

トラクターが走行する右側の畦を掘り取りします。収穫後の圃場を走行するため、トラクターとハーベスタのタイヤは畦を削ることなく、タイヤ側圧によるイモの損傷と土塊の発生をなくし、イモへのダメージを最小限に抑えます。



最高作業速度

3.8km/h

TOP1は機械による土塊の発生が少なく、土塊処理・茎葉処理にも優れているため、より高速な作業をおこなうことができます。

※圃場条件により異なります

最大メインタンク容量

4.0m³

TOP1は収穫後の圃場を走行するため、タイヤによる培土削りの心配がありません。そのためハーベスタに幅広タイヤを装着することができ、安定走行が可能になりました。

イモへの平均衝撃値 (当社 TPH7 比較)

4% 減少

タイヤ側圧によるイモの損傷がなく、メインタンクまでの搬送方法の違いや各コンベヤ間の落差の減少、土の呑み込みの改善などによりイモへの衝撃が減少しています。

※作業条件により異なります

最高作業能率

23.0a/h

当社インローハーベスタTPH7と比較して、約1.3倍の能率を誇ります。

※圃場条件により異なります

イモに優しく、選別者にも優しい選別機構



※照明・カメラは製品に含まれません。

イモの流れ

オフセットハーベスタのイモの流れと、夾雑物処理工程を説明します

掘取部

掘取り高さを一定に保ち、自動高低掘取りが可能です。リードローラは培土形状に合わせて標準用、深堀用からお選びいただけます。



第1コンベヤ

大量の土砂と一緒に掘り上げ土砂をクッションとすることで、イモへの衝撃を緩和します。イモの転がりを防ぐために、コンベヤにヒレ付きロッドを使用しています。



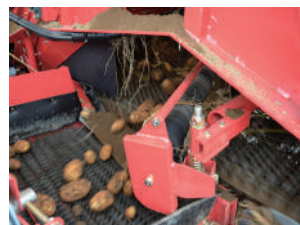
第2コンベヤ 茎葉コンベヤ

イモを第1コンベヤから第3コンベヤに送る役目と、茎葉をソギ板で処理、排出する役目を果たします。また、各コンベヤ間の落差を少なくし、イモへの衝撃を最小限に抑えます。

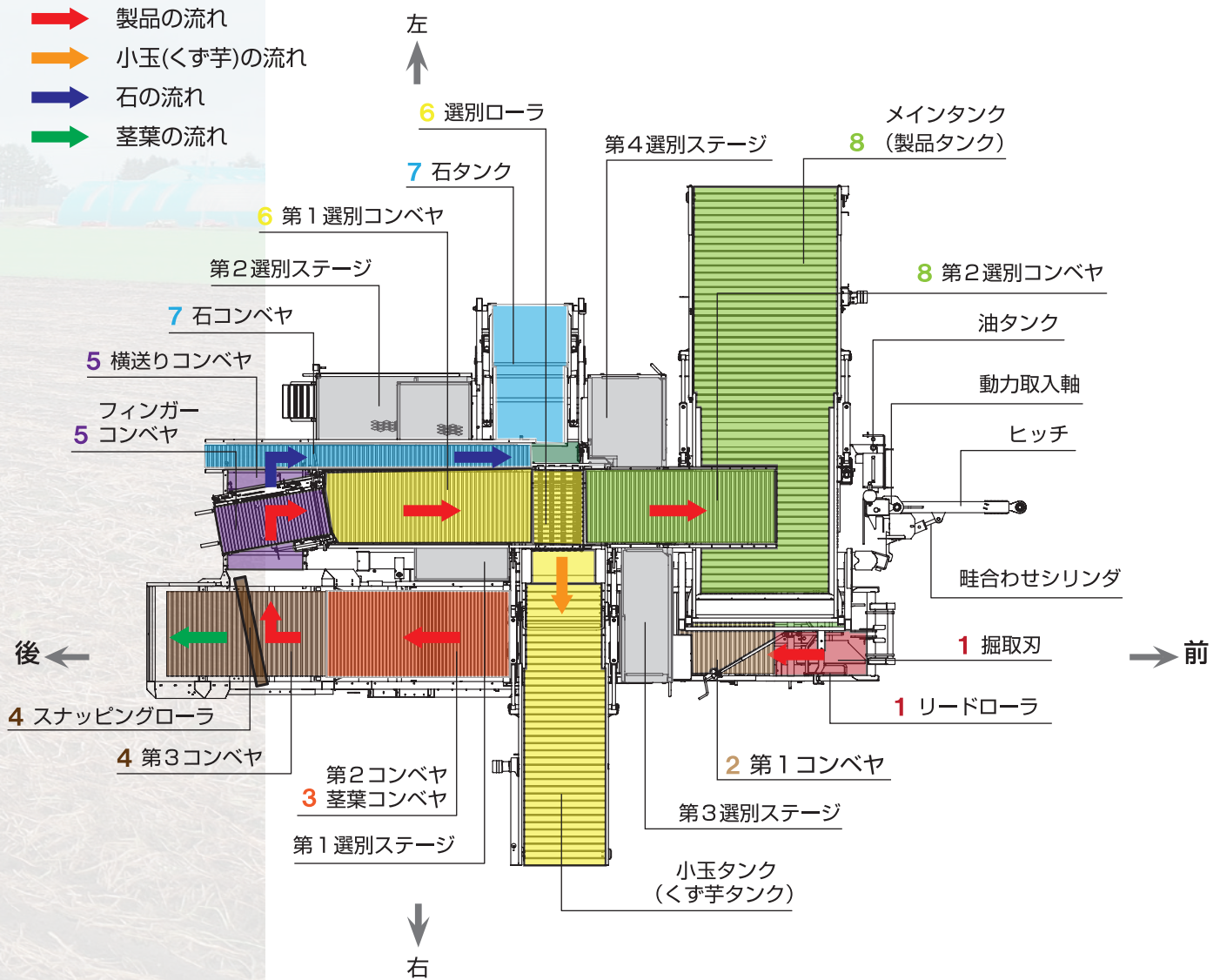


第3コンベヤ スナッピングローラ

第3コンベヤ上に設けられたスナッピングローラにより、イモは横送りコンベヤへ送られ、土砂と茎葉はスナッピングローラ後部から圃場へと落下します。



TOP1 機能配置図



横送りコンベヤ フィンガーコンベヤ

イモと石・土塊の比重の違いを利用しイモは選別コンベヤ、石・土塊は石コンベヤへ送ります。コンベヤ間の隙間調整により、イモを均等に選別コンベヤへ送ることができます。



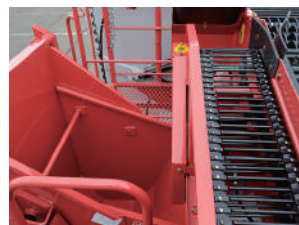
第1選別コンベヤ 選別ローラ

選別コンベヤに送られてきたイモは2～5名の選別作業員により選別をおこないます。規格外の小さなイモは中央の選別ローラから小玉タンクへ落下します。



石コンベヤ 石タンク

横送りコンベヤにより選別された石は、石コンベヤにより石タンクへ送られます。石タンク無しも選択することができ、その場合は選別ステージが広くなります。



※石タンクは型式にCが付くタイプのみ

第2選別コンベヤ 製品タンク

第2選別コンベヤ上で最終選別を行い、製品イモのみ製品タンクへと運ばれます。製品タンクには、落下衝撃を緩和するために、2カ所にウレタンシートをはっています。

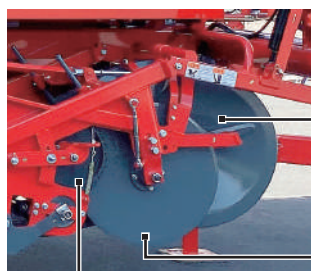


主な機能

掘取部

リードローラと掘取刃の位置を前部に変更し、土の呑み込みを改善しました。リードローラ、コールドタ、掘取刃は深さ調整が可能です。

[調整ハンドル]



[リードローラ]

リードローラと掘取刃先の相対位置を変化させるように、調整ハンドルを回し掘取深さを調整します。

[コールドタ]

茎葉を切り、土の呑み込みをスムーズにします。



[こぼれ止めローラ]

両サイドからのイモの落下を軽減します。

[掘取刃]

角度調整ができ、土の呑み込みを調整することができます。

第1コンベヤは自動高低できる構造になっており掘取深さはリードローラによって一定に保たれます。

シンプルな操作性

ステアリングワンタッチ中立復帰



タイヤを任意の角度に調整するステアリングは最少半径で回行できるため、作業性を向上させます。このステアリングに中立復帰機能を盛り込んだシステムを標準装備。畦に入る直前にワンボタンで「ピタッ」と中立で停止し作業に入ることができます。



[中立復帰ボタン]

駆動プーリ



第1コンベヤ回転部に歯付きの駆動プーリを使用することにより、コンベヤの段ズレを防止します。



ボルガ側板



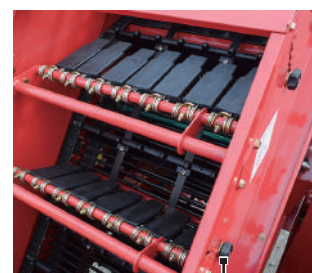
第1コンベヤ側板にボルガ（高分子樹脂）を使用し、土の付着を防ぎます。夾雑物の流れもスムーズになるため、ベルトの耐久性を向上させることができます。

コンベヤ速度調整



土質や天候に合わせコンベヤの速度を3段階に調整できます。
※選別コンベヤ、フィンガーコンベヤは油圧操作による無段変速

茎葉ソギ板



[調整ハンドル]
茎葉コンベヤ上にある3列のソギ板（特注で5列へ変更可能）はイモと茎を分離する役目をします。

コントロールボックス



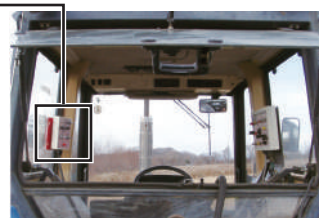
オペレータが操作しやすい様に大きめの表示とスイッチ類を機能的に配置しています。

サブスイッチボックス

キャビン内



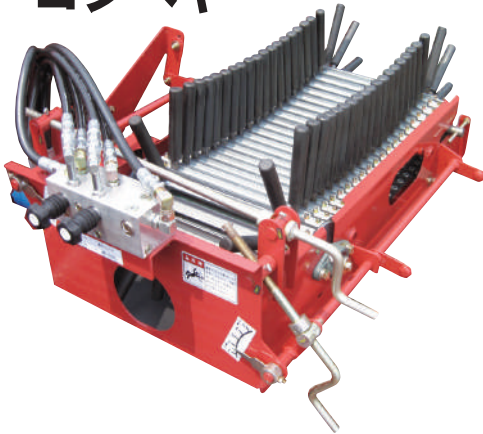
タンク排出側に取り付けることで、大コンへのイモの排出が楽におこなえます。



夾雑物処理の強い味方

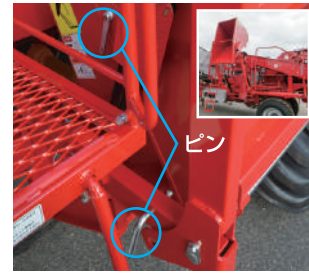
フィンガーコンベヤ

ヘッジホックコンベヤとフィンガーゴムによるセパレータは、2本のハンドルで任意に高さを調整し、土石の分離を効果的におこないます。コンベヤの回転速度は油圧ノブ操作での調整が可能です。



石タンク

(型式に[C]が付くタイプ)



タンク容量が0.4㎡で、油圧操作による排出がおこなえます。排出高さは約1.9mです。両サイドのピンを抜くだけで簡単に折りたためます。

石タンクなし

(型式に[B]が付くタイプ)



石タンクがなく選別ステージが広がります。石コンベヤに流れた石は直接圃場に落下します。

第2選別コンベヤ



第2選別コンベヤは製品タンクとの落差を低減するため、油圧操作によって上下させることができます。また選別コンベヤから勢いづいて転がるイモをゴム板で抑制します。

茎葉ガイド



コンベヤで処理した茎葉をイモを掘り終えた畦に落下させるので、次の畦の掘り取りが快適におこなえます。

メインタンク



タンク容量	最大排出角度
4.0㎡(G)	23.5°
4.0㎡先折れ(R)	25.0°

小玉タンク



タンク容量は1.0㎡、最高排出高さ2.7m、アンローディングコンベヤにより排出できます。

タイヤ



タンク容量	タイヤ幅 (mm)
4.0㎡タンク(G)	500
4.0㎡タンク先折れ(R)	500

選別ステージ



選別ステージの一部を高さ調整できるので、選別者の負担を軽減します。更にオプションで選別者の負担軽減にラバー素材の腰掛け（ヒップレスト）もご用意しております。

日除けテント



選別作業者を日中の強い日差しから守ります。高さは地上から3.8mになります。

※画像は4.0㎡タンク先折れ仕様

公道走行対応部品

赤白灯火器

白反射板

制限標識



外側表示板

三角反射板

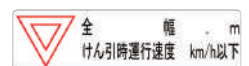


セーフティチェーン

万が一トラクターから作業機が外れた場合の安全装置です。

トラクター運転席

※全幅・運行速度を記入し、トラクター車内に掲示してください。（トラクター運転席）



農耕用トラクターについて「道路運送車両法」に基づく保安基準に緩和措置が設けられました。それにより、必要な対応を行うことで、「直装タイプの作業機」と「けん引タイプの作業機」を装着したトラクターが道路を走行できるようになり、TOP1 全ての型式に公道走行装備が標準装備となりました。



メインタンクタイプ

圃場に合わせて最適なタイプをお選び頂けます

4.0m³タンク(Gタイプ)



シンプルな形状で、大コンへの排出が行いやすいタンク。

4.0m³タンク先折れ(Rタイプ)



トレーラー(ビート車)への直接排出が可能な、
最高排出高さ3.7m(Gタイプ2.95m)の先折れメインタンクを
装備。

オプション

作業性の向上、イモの損傷の減少のために様々なオプションをご用意しております。
お客様の圃場に合わせて最適なタイプをお選び下さい。（掲載は一例です）

被覆ラバーゴムアタッチ

標準仕様



被覆ラバーゴムアタッチ仕様



第1コンベヤの裸ロッドにゴムの被覆を取り付けることができます。小芋の落下防止、土の上りが悪い場合に有効です。

選別ローラワンタッチ調整

※工場組込のみ



選別ローラのシャフト間の距離を調整して、小玉サイズを調整できます。



目盛り左側のボルトを回すことでメモリの矢印が移動し、選別ローラの間隔を調整します。

発電機台



発電機を乗せる台を取り付けられます。
日没後に選別コンベヤを照らすライトなどの電源としてご使用頂けます。

※発電機は含まれません

茎葉コンベヤロープ



茎葉処理能力を向上させるためのロープを茎葉コンベヤに取り付けられます。

巻上シュート

製品イモを一度シュート内に溜めてからシュートを徐々に下げて大コンへ排出することで、排出時の落差を抑えイモへの衝撃を緩和します。



ローディングシュート
コンテナ用



ローディングシュート
油圧用



ローディングシュート
バック用



主要諸元

型 式	TOP1			
区 分	BGV26	CGV26	BRV25 *	CRV25 *
形 式	けん引式、タンカー形			
用 途	食用、加工、種子用			
規 格	1畦、オフセット			
全 長	格納時 7,480mm(作業時 7,990mm)			
全 幅	格納時 3,240mm (作業時 6,460mm)		格納時 3,300mm (作業時 7,050mm)	
全 高	格納時 3,520mm (作業時 3,010mm) (配送時 3,170mm)		格納時 3,810mm (作業時 3,010mm) (配送時 3,400mm)	
機 体 質 量	5,350kg	5,450kg	5,880kg	5,980kg
茎 葉 処 理	茎葉コンベヤ			
掘 取 部	リードローラ	つづみ形(直径680mm、幅540mm)		
	コールタ	丸形(直径610mm、間隔620mm)		
	掘 取 刃	3ポイントショベル		
選別コンベヤ	680mm			
タ ン ク	メイン タンク	4.0㎡ (アンローディングコンベヤ) 排出支点高さ:2,980mm	4.0㎡ (アンローディングコンベヤ 先折れタイプ) 排出支点高さ:3,770mm	
	小玉 タンク	1.0㎡ アンローディングコンベヤ		
	石 タンク	無し	0.4㎡(油圧ダンプ式)	無し
走 行 部	タ イ ヤ	500/45-22.5		
	輪距の範囲	1,930mm～2,445mm		
	舵 取 装 置	油圧パワーステアリング(自動中立復帰)		
	レベリング機構	無し		
ヒ ッ チ	スイングヒッチ			
ス タ ン ド	手動			
PTO回転数	280～350rpm			
油圧操作	電磁弁			
適応トラクター	59～110kW(80～150PS) タイヤ外寸法2,600mm以下			
トラクター油圧	外部取出複動1系統、油量15～40L/分(PTO350rpm時)			
作 業 速 度	1.4～3.8km/h			
作 業 能 率	8.6～23.0a/h			

※日除けテントの重量は含まれていません。
※オプションを追加すると重量は増加します。
※日除けテントを装備した場合は、型式【G】で全高3,790mmおよび全幅3,300mm、型式【R】で全高3,890mmおよび全幅3,330mmとなります。
※トラクタ油圧の流量は上記範囲になるよう、トラクタの選定をお願いします。
※可変容量ポンプを使用しているトラクタには、電磁弁・油圧配管などの改造調整が必要になります。(有償)
※トラクタ油圧の戻り配管に圧力が発生する場合は、直接トラクタのタンクに戻すようトラクタの油圧配管の改造が必要になります。(お客様手配)
※カタログに記載された数値・性能は気象条件や圃場条件などにより異なります。
※本仕様は改良その他により予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
※カタログに掲載されている製品の写真は最新ではない場合がございます。
※TOP1の全機種は【公道走行対応部品】が装備された状態での販売になります。
注：*印の型式は営業年度開始前からの予約生産のため、生産せず在庫がない場合がありますので、ご了承ください。